

地域みらい学科のご紹介

学生176人を指導する教員8人の専攻

香取 薫

工学、情報文化論

木暮 祐一

工学、情報通信技術政策

足達 健夫

工学、交通計画

遠藤 哲哉

経営学、自治体経営論

生田 泰亮

経済学、経営統治論

安田 公治

経済学、農業政策

佐々木 てる

社会学、エスニシティ論

飯田 俊郎

社会学、コミュニティ論

○最大の特色は「**少人数ゼミ**」による**フィールド**や**実践**からの**学び**

「**知の冒険計画**」という現場型の教育課程

＜**新時代の地域のリーダー**＞はどうやって生まれるか？

地域の営みを(学びの)フィールドとし、
地域に生きる人たちとともに地域の課題を自ら掴み取り、
必要な知識を獲得し、
その知識を行動に活用できる能力を
身に付けさせる教育課程から生まれる。

学生の習熟度の段階に応じた教育プログラム

「**知の冒険計画**〈アドベンチャー・プラン〉」によって進められる。

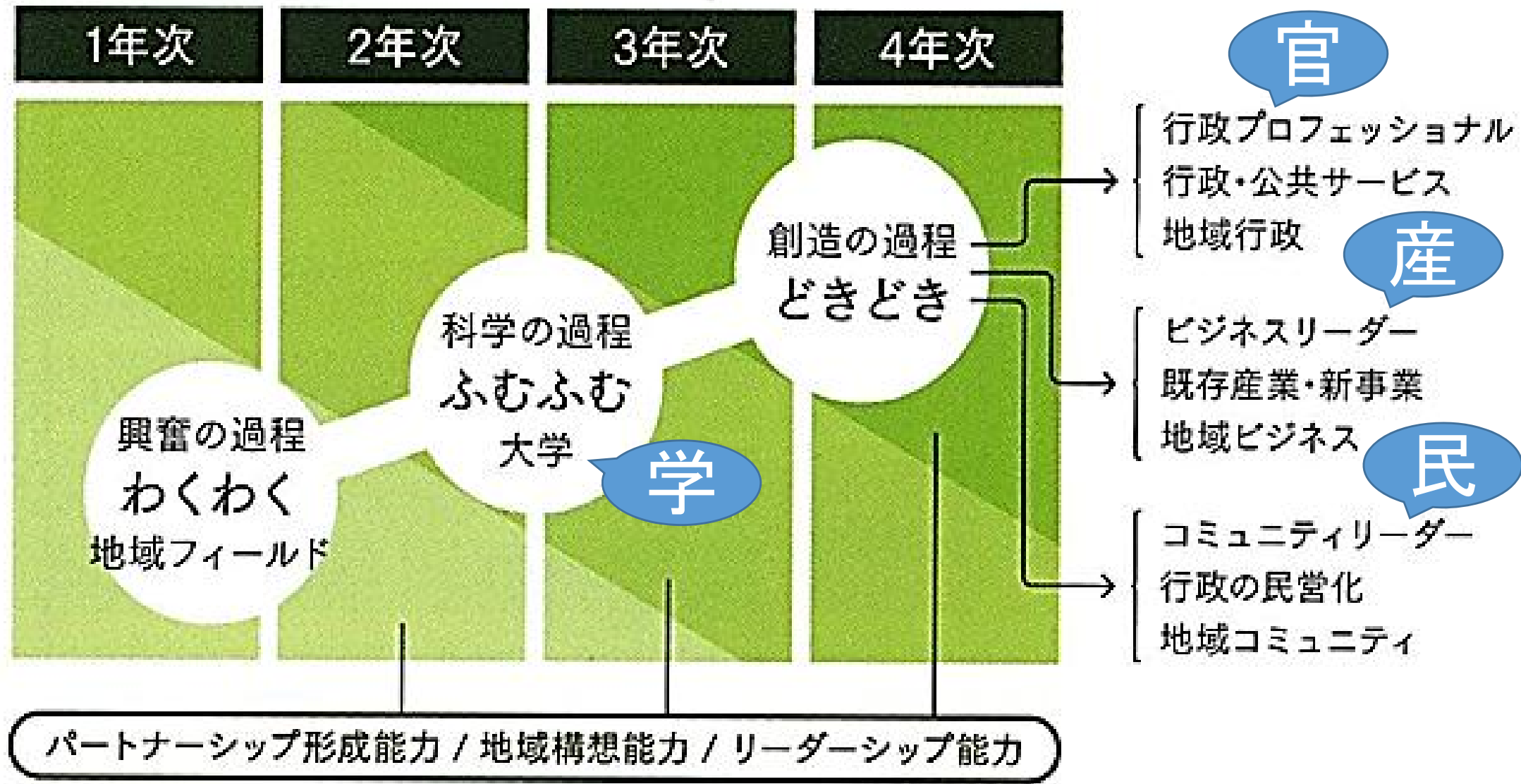
“わくわく”プログラム : 興奮の課程

“ふむふむ”プログラム : 科学の課程

“ドキドキ”プログラム : 創造の課程

○「知の冒険計画」の3段階による教育方法

「知の冒険計画」の全体像



○学生の「感動」「驚き」「わくわく感」を大切に、 素晴らしい社会創造に向けた「実践知」の創造へ

小人数、フィールドワーク実践プロセス例

(1) 感性を磨く、共感

- ・地域社会の対象に迫る

～当事者が何を考え、課題と感じ、どのように克服に向けた意識を持ち、行動を行っているのかを探索する

わくわく

(2) 自己の思い、感覚をまとめる

- ・暗黙知、形式知に迫る

～思いをできるだけ共有し、地域課題に内在しつつ、
思いをまとめる

ふむふむ

(3) 実践への志向

- ・小プロジェクト化

～ささやかかもしれないが、自己の思いを地域で形にする

ドキドキ